

明石神戸宝塚線道路改良工事
太山寺附近埋蔵文化財確認調査報告

1974・1

神戸市教育委員会

太山寺附近埋蔵文化財確認調査報告

1.はじめに

本書は、明石神戸宝塚線道路改良工事に伴う太山寺周辺の埋蔵文化財分布調査および道路改良工事予定地内の試掘調査の報告である。

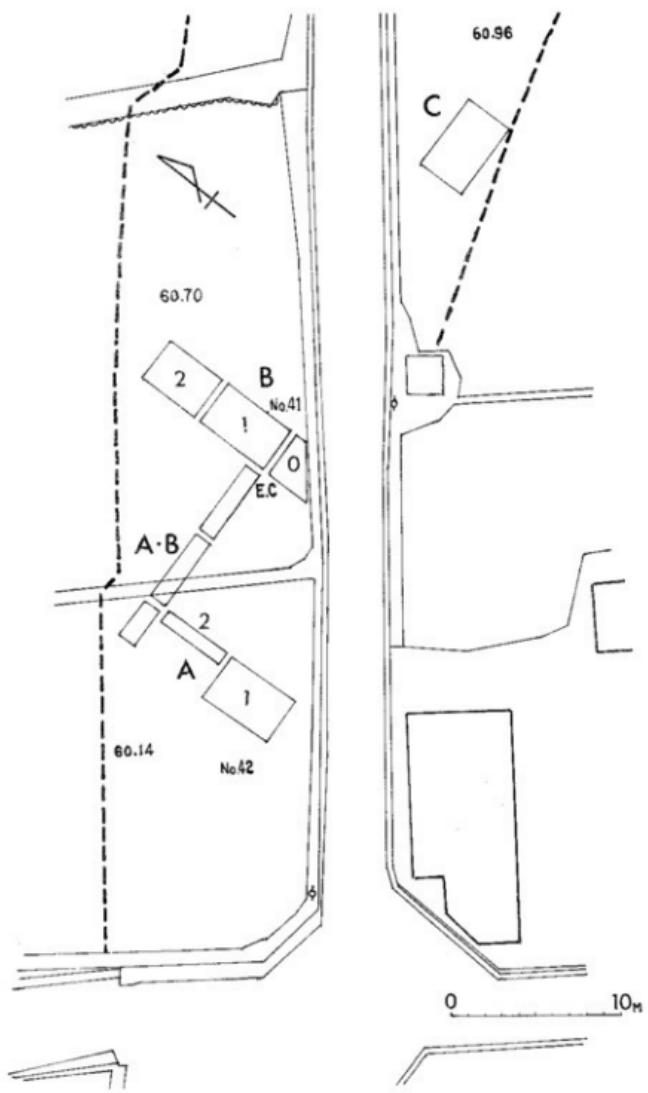
教育委員会は、河野通哉を团长とする明石神戸宝塚線道路改良工事埋蔵文化財発掘調査団を編成し、調査員真野修、調査補助員五十川伸矢、辻本武、高原敏郎、調査協力者藤本英雄、松下栄美、中垣睦をもって調査を実施した。

調査は、昭和48年12月3日より昭和49年1月15日まで行われ、以下に述べるごとき成果をうることができた。

今回の調査対象区域は、明石川の支流「伊川」の中流部で、神戸市垂水区伊川谷町前開上に所在し、太山寺本堂の西北約150~200m、太山寺の塔頭（摩尼坊・大善坊・松本坊・金藏坊・宝積坊など）の存在した地域だと推定されている地点である。



第1図 太山寺位置図



第2図 第1調査区トレンチ配置図



第3図 第1調査区 A-1 トレンチ平面図



第4図 第1調査区 B-0 トレンチ実測図

発掘調査にあたっては、主として太山寺関係の遺構が存在するかどうかを明らかにすることを目的としたため、遺構面より下層に更に古い時代の埋蔵文化財を包蔵しているかどうかは明らかにしていない。また、発見された遺構も発掘区域を最少限度にとどめたため、全貌を明らかにしないものが多い。しかし、この地に太山寺関係の遺構が存在するかどうかを求めるという所期の目的はほぼ達せられた。

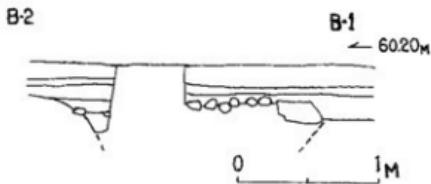
2. 調査概要

a. 第1調査区

A-1トレント北端からA-2トレント南端にかけて、第3層直下（地表下約35~40cm）で幅約2mの東西方向の礫敷遺構が検出された。断面および平面観察の結果、溝状遺構の上面に礫を敷きつめたものであることが判明したが、遺構面を保存するため溝の底面までは掘り下げていない。（第5図）

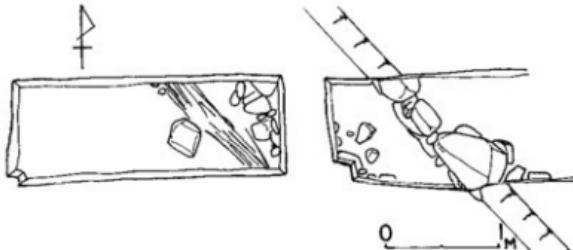
この礫敷面に混入している遺物には瓦類（軒平瓦・円瓦・平瓦）・須恵質土器・土師質土器・陶器（丹波焼など）などがあり、いずれも室町時代以降のものであった。また、A-1トレントの南端で

第3層直下より室町時代の鬼瓦・円瓦・平瓦が出土した。



第5図 A-1~2トレント礫敷遺構断面略図

A-2トレント中央部で検出された井戸状の遺構は、木枠に建築材を転用していたが、放棄したとき木枠の大部分をぬきとり、径10~20cmの角礫と瓦類（軒円瓦・軒平瓦・円瓦・平瓦・敷瓦—いずれも江戸時代）によって埋められていた。



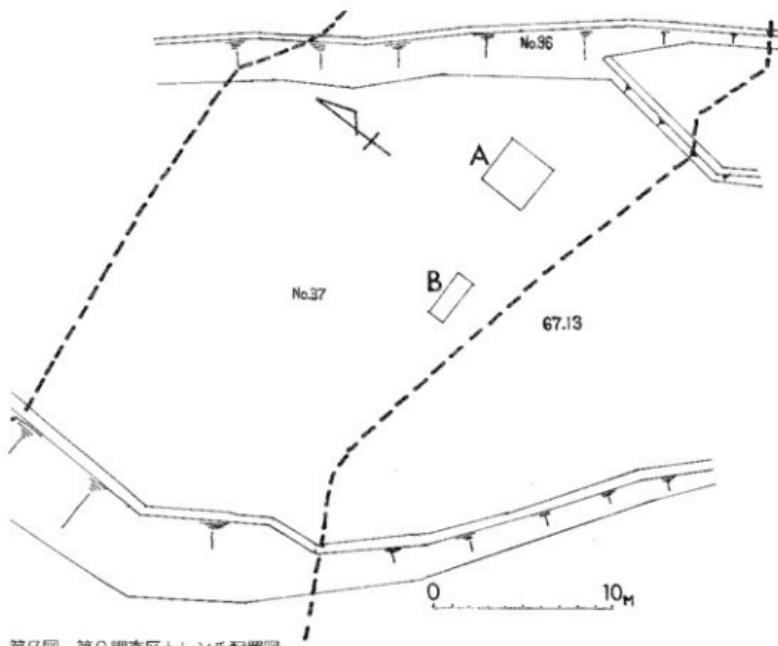
第6図 A・Bトレント排水施設

井戸の内部は、出水のため十分に掘り下げることができなかつたが、磁器・箸状の木器・漆器・梅の種子などが出土しており、いずれも室町時代～江戸時代の遺物であった。

A・Bトレンチの西端には、両側に石を並べ、中に竹を敷いた排水施設が南北方向につくられていたが、時期を確定できる遺物は発見されなかつた。(第6図)

B-Oトレンチでは、かなり密度の高い小礫層が認められたが、礫層面は南から北へむかって傾斜しており、建物の基礎固めのごとき性格のものであろうと推定された。礫層面には軒円瓦・面戸瓦・円瓦・平瓦・須恵質土器・土師質土器・磁器など室町時代の遺物が混っていた。

Cトレンチでは、幅約60cm・深さ約20cmの溝が南北方向に検出さ

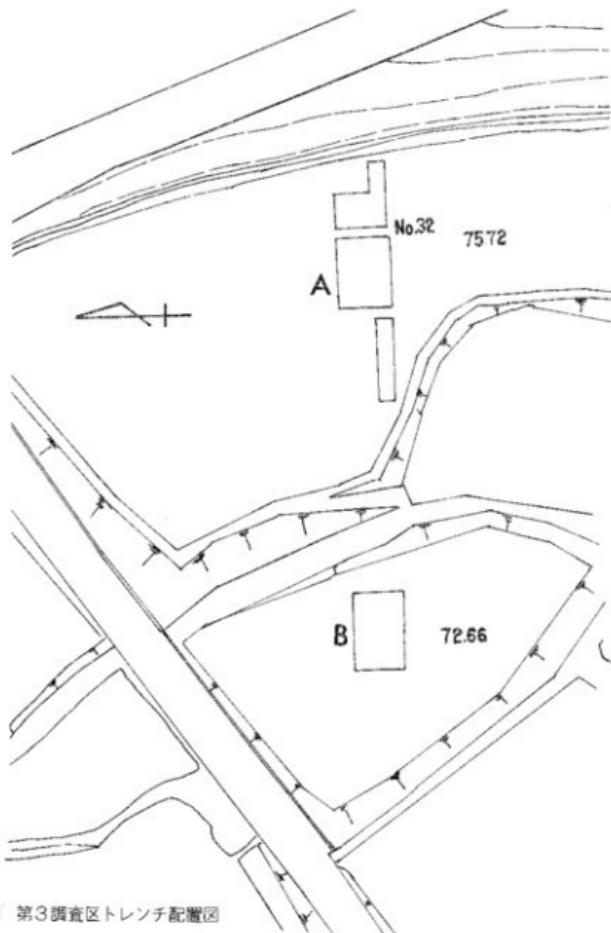


第7図 第2調査区トレンチ配置図

れたが、時期を確定できる遺物は発見されなかった。

b. 第2調査区

Aトレンチには、火形の河原石を混えた配石造構が認められ、庭園の一部ではないかと推定されたが、調査区が狭いため確認できて



第8図 第3調査区トレンチ配置図

いない。

Bトレンチからは、須恵質土器・土師質土器・磁器などが出土しており、いずれも室町時代頃のものであった。

c. 第3調査区

A・B両地点とも遺構を検出できなかったが、調査前に須恵質土器・土師質土器・軒円瓦（江戸時代）を探集しており、B地点の東側では巨石を積み上げた石垣が残っていることなどから、近くに塔頭に関係する遺構があったと推定される。

3. ま と め

以上のように、今回の調査は、発掘区域を最少限度にとどめたものであったが、各発掘区とともに太山寺の塔頭に関係する遺構・遺物が検出され、中世の太山寺を知る上に重要な遺構が附近一帯に埋没していることが明らかになった。



第1調査区 A-1、A-2トレンチ



第1調査区 A-2トレンチ井戸状遺構

図版2



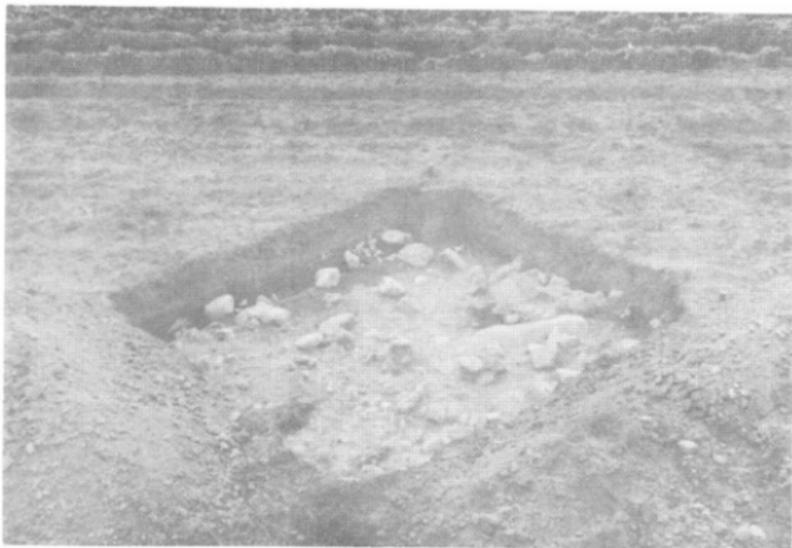
第1調査区 A・Bトレンチ排水施設



第1調査区 B-Oトレンチ砂敷遺構

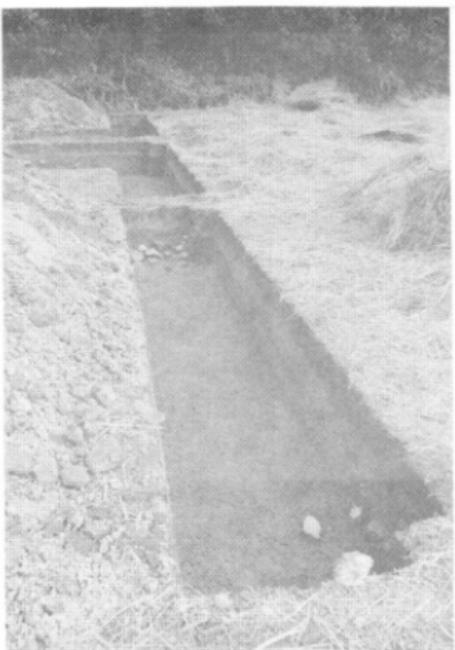


第1調査区 Cトレンチ溝状遺構



第2調査区 Bトレンチ配石遺構

図版4



第3調査区 A地点



第3調査区 B地点